

## 魅力

自然 歴史・文化 温泉・リゾート  
まちめぐり・まち景観 体験・イベント

## まちめぐりの魅力向上と受入体制の整備により滞在力を発揮

鶴ヶ城や白虎隊という定番的な会津観光から、まちめぐりを誘う会津若松・七日町のまちなみ、喜多方の蔵等両市の中心部への魅力向上に取り組む。加えて、体験型観光、広域的なメニューを充実。地域一体となったキャンペーン・イベント活動の継続により、両市の入込客数の合計は350万人を越え、地域の観光を牽引。



会津のまちとまちめぐり(七日町駅カフェ)



### 入込客数

福島県統計

平成14年(2002) 277万人  
平成15年(2003) 281万人  
平成16年(2004) 316万人  
平成17年(2005) 325万人  
平成18年(2006) 358万人

※ 会津若松市及び喜多方市の市街中心

## 取組

PR・誘致活動 案内・情報提供 景観保全・環境整備  
体験・イベント開催 広域連携の促進 交通アクセス

### まちめぐりの魅力を高める



喜多方の蔵を活用した観光施設

会津若松市の七日町通りでは、趣を失っていた歴史的な建築の外観を昔の風情に再生し、七日町駅カフェ、会津ブランド館等に整備。買物客が乏しかった商店街は観光客を中心に平日約2千人に回復。商店街の女将さんたちで構成する「アネッサクラブ」による「のきさきギャラリー」や「四つのどうぞ(イス、お茶、トイレ、荷物預かり)運動」を展開し、ふれあいのある散策の拠点となる。また、喜多方市の蔵を、美術品、民芸品の展示や観光案内所、土産店、飲食店に活用することで、蔵とラーメンのまちとして定着した。平成19年の、会津若松市街地への入込客数は前年比12.9%増と地域を牽引。

### 魅力ある観光の足

会津若松、喜多方にはレトロ調バス、タクシーが運行。会津若松市内の周遊バス「ハイカラさん」「あかべえ」は、市内めぐりに最適。喜多方市内の周遊バス「ぶらりん号」やロンドンタクシーは天ぷら油の廃油を利用したバイオディーゼル燃料により環境対策にも取り組んでいる。また、2日間乗降フリーとなる「会津ぐるっとカード」がまちめぐりに活用され、年間6千枚の売上実績があり、安心して手ぶらの観光ができるよう、宿泊先への手荷物配送サービスも実施している。



レトロ調バス

### 伝統と新しさ・多彩な食

伝統料理「練の山椒漬」や、帆立の貝柱のだしに里芋や茸等が入った「こづゆ」等、北前船で運ばれた産品が使われる。会津の歴史に思いをはせながら、どこか懐かしく、優しい味わいがある。磐梯山麓で育まれた名水、気候は醸造業を発達させ、味噌、醤油、名酒の産地。名水はミネラルウォーターとして、また、蕎麦や喜多方ラーメンの麺を生む。他にも茶道の伝統と間食を楽しむ習慣があり和菓子も多く、多種多様な食の楽しみを提供している。



会津の郷土料理「こづゆ」

### 広域観光への対応

会津若松市と周辺市町村には、古寺、名刹が多く「仏都会津」として、特別拝観、講話と乗合タクシーを結びつけてPR。会津全域の広域観光に加え、乗合タクシーの運行により山形県米沢市・置賜地方とも連携を強める。首都圏からの鉄道アクセスと、両地域の温泉を活用し、宿泊滞在客の増加を目指す。

極上の会津プロジェクト協議会 事務局／会津若松市観光課  
TEL:0242-39-1251 URL: <http://www.aizu-furusato.com/gokujo/index.php>